

# 涌泉寺だより

仏すでに過去にも滅せず、未来にも生ぜず、所化以て同体なり。

(観心本尊抄)

今年、京都大学の山中教授がノーベル賞を受賞され大変メディアを賑わせ、新たな医療の幕開けを期待し日本中で祝福されました。

人間が生きていくとは、いかなることなのか考えたとき i p s 細胞による医療が必要なのか、疑問にも思います。佛教では人間が生まれる理由は成佛することである、と言えると思います。肉体に執着することは、佛教の中道の考えからは離れ成佛には近づくことはできないはず。それぞれの人の基は魂であり肉体ではないと思います。

「魂」について考えたことがありますか？どなたでも、在るか無いか、死後というか、肉体が終わってからというか、その後について考えることがあると思います。魂というところ後の世界を想像される方が多いのではないかと思います。私は肉体は魂が宿っているものであって、魂自身でその肉体を選択し生まれてきていると考えています。生きている間は大事なものですので、大切にすべきであると思いますが、臓器を入れ替えなが寿命を延ばすようなことは、いかなるものかと思ってしまう。

i p s の医療は倫理的にも問題ないと考えられています。今後、身体だけでなく、精神にもどのような影響を及ぼしていくのでしょうか。皆様はどう感じられましたか。病で困っている人、先天的に障害をお持ちの方などからすればとても期待する治療であるとも思います。

人が生きる理由は様々で、なぜ生まれてきたのか自分自身わからないことの方が多いと思います。私は今の自我を否定し、佛さまに自身の存在は何かと問い続ける中に、その問いが佛さまと感応し、今度は佛さまから答えが返ってきたときに自身の本来の存在に気付くことができると感じています。

社会の中で自身の存在を常に問い続けることによって自己の生き方が自ずと明確にされていく、ということが日蓮聖人にお示しになられた「立正安国論」だと今は思っています。

先日の選挙で批判ばかりの街頭インタビューを見て、文句がなる立候補すればいいのに、日本以外にもたくさん国があるのに、どうして協力しようと思わないのか、と思ったりしませんか？

私は忘れてしまっていますが、私自身が、「魂」がこの身体を選択して生まれてきたのだと信じています。今年も大変な世の中が続きますが、今この身体を大切に、元気に楽しく現実に向き合いたいと思います。



日生上人坐像

## お知らせ

### 生師廟改修工事

秋のお彼岸法要終了後に総代さんよりお伝えいただいたように、10月より工事に取り掛かり、7日には安全祈願を総代・堂講・業者さん等出席下執り行いました。年度当初より総代・堂講の皆さんと度々話し合いを重ね、7月に改修工事を行うことを決定、8月に京都府文化財保護課紹介の業者さん等に入札していただきました。その結果、細見工務所さんに施工をお願いすることとなり現在、瓦の葺き替え中です。細見工務所さんは神社建築を専門としており、屋根裏は雨漏りで予想以上に痛んでおりましたが、今後百年持たすようにとても丁寧な工事していただいております。年明けより屋根の工事を再開し2月末日の引き渡しを予定しております。

生師廟は、お檀家の皆様とはご縁が薄いようにお感じの方もおられると思いますが、現在の本堂は日生上人がお建て下さったものです。また本年3月の団参では日生上人出身の蓮昌寺様もお参りさせていただきました。当山に大変縁の深い日生上人の御廟をお檀家の皆様と一緒に改修工事できることは、今後の涌泉寺護持にとても意義深いものとなると信じております。完成後はぜひ一度お参りいただければと思います。また今回の工事にあたり京都府から補助金をいただきます。当初は補助金の存在を知らずにおりましたが、総代・堂講さんの中で詳しい方がおられたため補助を受けることができました。総代・堂講さんが数年ごとに変わる当山ならではのこころと思いい感謝しております。

### 第四十四世修清院日性上人第十三回忌

11月25日当山干与人華光寺住職浅野耀泰上人御導師のもと、涌泉寺本堂で十三回忌法要を営みました。当日は立本寺貫主猊下、松ヶ崎法縁の御上人、地元お檀家の皆様にお参りいただき、ありがとうございます。今後も先代上人に感謝し一所懸命精進して参ります、どうぞよろしくお願いいたします。

### 東墓地石垣工事

夏のお便りでもお知らせしましたように、東墓地供養塔並びの西側石垣の積み替え工事を行いました。工事中はご不便をお掛けいたしました、お陰様で無事完成いたしました。ご理解ご協力に感謝いたします。

石垣も老朽化が進み心配しておりましたが、今回の工事で安全がしっかり確保できたと思えます。

### 庫裡の催し

11月23日に、ジャズのライブを行いました。今回はピアノを入れてみようと思いい本堂よりピアノを運び入れ演奏していただきました。ピアノが寺崎純さん、ボーカルが小柳淳子さんのデュオで楽しいひとときを過ごさせていただきました。ピアノの移動は大変でしたが移動の甲斐がありました。

### 日蓮聖人御真筆と「涌泉」額のご奉納

書家の猿田創望さんより日蓮聖人御真筆と伝わる書簡断片と、額を10月にご奉納いただきました。額は庫裏玄関に掲げるよう準備しております。心より感謝いたします、ありがとうございます。